

道徳通信

～「親友」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年2月16日の授業

📌 ～「友達とは何だろう？」について考えました～

健太はクリスマス会のプレゼント交換で、自分が編んだマフラーを出すとみんなに笑われてしまいます。顔が上げられない健太に「健太君って、天才？」と言って救ってくれたのが美咲でした。

同じクラスになった健太と美咲はすぐに仲良くなり、二人は親友になります。母は、健太が「美咲は女なのにサッカーも釣りもうまい」と言うのを聞いて、「女だとか男だとか関係なく、自分らしく堂々と生きている美咲さんはすてき」と言い、健太はそのとおりだと思います。

しかし、中学に入り、美咲と遊んでいると同級生から「女とばかり遊んでるのかよ」とからかわれてしまいます。健太は何も言えず、突っ立ってしまいます。美咲はそんな健太を見て教室を出ていきます。沈黙の後、健太は美咲を追って走り出しました。

異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、友達とは何なのかについて考えました。

●● ●●くん

友達とは、ぶつかり合おうとも分かり合える仲。

●● ●●さん

友達とは、授業前は一緒にいて楽しく、良い意味で気を遣わなくてもいい人だと思っていたけれど、授業後はお互い支い合えて自分が自分でいられる人だと思った。

●● ●●くん

友達とは、お互いに頼り合い、支え合い、高め合えるような、人生に必要な存在だと思う。

●● ●●さん

友達に性別は関係ないと思う。周りの人に何を思われても自分が仲のいい人と仲良くした方が気を遣わなくていいし、楽なのかなと思った。

●● ●●くん

友達とは、辛い時にそばにいてくれる存在。

●● ●●さん

男女問わず友情は誰でもあるんだと思いました。なにがあっても支え合ったり、笑い合えたりするのが友達なのかなと思いました。

●● ●●くん

友達が仲の良い人という考えは変わらなかったが友達でい続けるのは難しいと思った。

●● ●●さん

友達の定義が人によって違う。だからこそ他人に理解できない関係もある。それを理解して認めることは簡単なことではないから友達は難しいと思った。

●● ●●さん

この話を聞くまで友達は男女なんて関係ないと思っていたけどどこかでは男子は男子、女子は女子で遊ぶのが普通だと思っていた。でもこの話を聞いて友達は一緒にいて気が楽な存在だから男女なんて関係ないと改めて思った。

●● ●●さん

友達はなろうと思ったらできるものだけど、親友はなろうと思ってできるものではないと思う。「男子と遊んでいるの?」「女子と遊んでいるの?」と聞くことは男子や女子に対する差別と同じことだと思う。人が誰と遊んでいようと自由なのだから、壁を作るのはおかしいと思う。友達とは自分が心を開ける、信頼できる人が本当の友達だと思う。